

手作り感覚が魅力のエコ改修事業

兵庫県神戸市教育委員会事務局
総務部学校整備課 新浜 光平



神戸市では現在、学校施設の耐震化事業を行っています。

耐震改修を行うと外壁に鉄骨が入ったり、従来、窓であった開口部を閉塞したりして、耐震性以外の建物性能が劣る場合が多くなります。また、古い改修校舎が建てられた時代に比べると建物の温熱感・音等の教室環境、OA化、バリアフリー化など、建物に対する要求性能は高くなっています。

耐震補強工事を行った結果、耐震性のみでなくそのような要請に少しでも応えられないかどうかは、検討課題です。多聞東中学校の事業は、校舎の温熱性能の面で少しでも改善できないか、勉強してみようということで参加しています。

神戸市でも“エコ建築”と称されるものがありましたが、本当に環境改善に役立つのかあるいは“エコ風デザイン”なのか判断が難しいところです。そのためには、時間をかけた測定・検証等の学習が必要と思われます。

エコ改修事業のメニューでは、いままで時間の制約によりできないような測定・検証等が環境学習として位置づけられています。また、事業者が、主体的に研究会を運営し、校舎の温度測定等を行い、その研究成果を工事に反映していくことができます。

多聞東中学校においては、校舎の温度測定やエネルギー消費量の調査等を行いました。また、他校と横並びの比較等を行い、丘陵開発団地に建設されたこの学校の特徴を調べました。その学習成果を生かし、プロポーザルによりこの学校にあったよい改修案を得られたと考えています。また、その中に他校に応用できるものがあれば、今後の事業で組み入れることも考えられます。

エコ改修事業は、それぞれの学校の条件等で違ったものになっていきますが、その手作り感覚が、“環境問題の解決のためにはひとりひとりの学習が大事”であるという現場の技術者や先生などの主体性を前提としているこの事業の魅力だと思います。